第4章　願いをかなえるまち　かわさき

1 市民の願いと政治のはたらき

動物愛護センター



▲動物愛護センターの外観



▲サマースクールの様子



▲愛護センター内施設の様子

中原区上平間に川崎市動物愛護センターがあります。ここは動物を通じて、だれもがつどい、いこい、学べる交流施設です。もともとは高津区にありましたが（旧動物愛護センター）、2019（平成31）年２月に今の場所に移転、開設しました。また、市民から愛称を募集し、「ＡＮＩＭＡＭＡＬＬ　（アニマモール）かわさき」と決まりました。

新しい動物愛護センターになり、それまで１日平均６人だった来所者数が、１日平均65人となり、多くの市民が利用する施設となりました。



▲旧愛護センターの外観

どのようにして新しい動物愛護センターができたのかな？



〈動物愛護センター（ＡＮＩＭＡＭＡＬＬ）ができるまで〉

市民

愛護センターの建物が古くなっていたり、もっと動物を大切にできるようにしたりできるよう、だれもが利用しやすい動物愛護センターへ、建て替えをしてほしいです。

請願

市議会

議長

この請願を受理します。

審議

健康福祉委員会

- 建物が古くなっているので、市でも整備を進めようと検討を進めているそうです。
- 動物愛護活動に取り組んでいるボランティアの交流の場がないので、そうした場の提供や、動物愛護を広めるためのアドバイスなどをお願いしたいです。
- ボランティアや小・中学生が利用しやすいよう広くて、交通面でも行きやすい場所にしたいです。

本会議で請願が採択され、動物愛護センターの再編整備の検討を開始

採択

本会議



【本会議で話し合われたこと】

- 場所は最寄り駅から10分ほどで行ける場所で、周辺道路の道はばも広い場所にしましょう。
- 建物の広さもこれまでより広くして、犬や猫の部屋も増やしましょう。
- ボランティアの活動ができる部屋を用意しましょう。
- 動物愛護センターに親しみをもてるよう、市民から愛称を募集しましょう。
- センターを多くの人が利用できるよう、休日開館をしましょう。

予算をもとに新しい動物愛護センターを移転、開設します。施設の運営は川崎市が行います。

質問

答弁

市役所

新　動物愛護センター
ＡＮＩＭＡＭＡＬＬ　かわさき
平成31年２月　開設



中学校完全給食

川崎市の中学校では、昭和38年から牛乳のみを提供する「ミルク給食」や、平成16年から「中学校ランチサービス」が行われてきました。その後、市民からの要望を受けて平成25年に「川崎市立中学校給食の基本方針」を決定し、平成29年度から全校で完全給食がスタートしました。

〈中学校給食が実現するまで〉

市民

・働いている保護者も増える中、お弁当作りは大変です。
・子どもに温かい給食を毎日食べさせたいです。
・約2万人の署名　　・保護者からの要望

請願・陳情

市議会

本議会

審議

文教委員会

採択

本議会

中学校給食推進会議　　**中学校給食推進連絡協議会**

・どこでどのように給食をつくるか
・他の地域ではどのように給食をつくっているか（視察）
・どのようにお金をやりくりしていくか

質問

答弁

川崎市 教育委員会

<実現に向けた予算見込み額>
総額　約446億円
（内　国の補助金15億円）

中学校給食について、市議会で何度も取り上げられ、
完全実施に向けて繰り返し議論されてきました。



市民の方の思いを形にするために、くり返し話し合いが行われたんだね。

≪給食運営≫

・１日最大31,000食を南部、中部、北部の３か所で調理し配送。
・中野島中、犬蔵中は自校調理で提供。
・東橘中、はるひ野中は小中同じ給食室で調理し、提供。

平成 29 年 12 月中学校給食全校実施

南部学校 給食センター所長さんのお話

南部給食センターでは、一日最大 15,000食もの給食が作られ提供されています。川崎市での中学校完全給食が決まってから、設備が整えられ人員が配置され、給食の提供がスタートしました。 栄養バランスの良い 、安全でおいしく食べられる給食を全校に届けて欲しいという市民の声に応えられるように、日々多くの方々が給食センターで働いています。



▲南部学校 給食センター





市民の願いが叶い、実現したことはうれしいことだね。



教育委員会事務局の当時の担当者の方のお話

市民の方々の注目も高かった中学校完全給食 ですが、実際に動き出していくと、実現までは苦労の連続でした。 川崎市は、市民の方々からの署名や要望を受け、中学生の健康を守るために 、そして保護者の方々の負担を減らせるように中学校完全給食の計画を始めました。会議を重ねながら、計画を立てたり視察に行ったりと実現に向けて動いていきました。市議会や教育委員会に報告し議決、また予算を決定することで計画が形になっていきました。その費用には、市民から集めた税金の他に、国からの補助金も使われています。

≪実現後の市民の声≫

・温かいもの、栄養のバランスがとれたものを成長期の大事な時期に毎日とれることはうれしいです。
・おいしいし、温かいご飯を学校で食べられるのはうれしいです。







地域子育て支援センター



小さい子たちが遊んでいるよ。ここは保育園や幼稚園とどこが違うのかな。







地域子育て支援センター　花の台　深津先生のお話



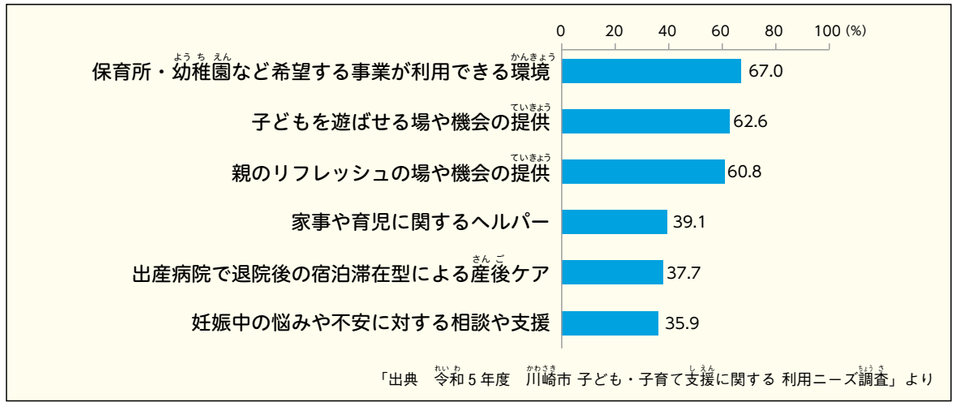
地域子育て支援センターでは、保育園や幼稚園にまだ入園していない子どもたちとその保護者が利用する施設です。子どもたちは、おもちゃで遊んだり絵本を読み聞かせてもらったりして、楽しく過ごしています。子どもにとっては、初めて自分の親ではない人とかかわることになります。支援センターは、社会性を学ぶ場所でもあります。

地域子育て支援センター　花の台　堀内園長先生のお話



地域子育て支援センターの役割は２つあります。１つは子どもを育てる手助けをすること、もう１つは保護者がかかえている子育てについての不安を少しでも取り除くことです。川崎市には、多くの方が引っこしてきます。周りに知り合いがいない方も、気軽に相談できるような施設を目ざしています。また、親同士のつながりができるような「かけはし」となることも、支援センターの大切な役割です。





▲安心して子育てを行うために、あればよいと思うサポート（保護者7,763人、上位６位）

地域子育て支援センター　花の台　を利用している方のお話

わたしは、川崎市から遠い場所から引っこしてきました。周りにあまり友達がいなかったので、先生や他の保護者の方に子育てについての相談を聞いていただきたくて支援センターに通っています。不安だった気持ちが晴れたり、友達と話をしたりして、気分転換することができます。

わくわくプラザ

わくわくプラザのどのようなところが便利なのかな。



わくわくプラザってこんなところ！

- ●全市立小学校にあります。
- ●放課後のほか、土曜日・夏休みなどでも利用できます。
- ●学校内にあるので、場所を移動する必要がなく安全です。
- ●登録すればみんな利用できます。
- ●希望する曜日・時間帯だけでも利用できます。
- ●午後６時まで（延長の申込をした人は７時まで）利用できるので、保護者が働いている家庭にとっても便利です。
- ●保護者が休みで家にいる場合も利用できます。



異なった学年とも交流できるところがわくわくプラザのよさです。



さまざまな行事を地域のボランティアをつのりながら企画しています。

川崎市　こども未来局　青少年支援室の方のお話

わくわくプラザは、子どもの放課後の安全な居場所と、遊びや仲間づくりの場所としてつくられました。わくわくプラザには、いろいろな相談や要望が寄せられます。こうした相談や要望を受けて、子どもたちが仲よく元気に過ごし、みなさんが安心して暮らせるように話し合ったり、改善したりしています。

みんなが安心して暮らせるようにわくわくプラザがつくられたんだ。



利用している保護者のお話

わくわくプラザがあることで、放課後仕事で家にいない時や、学校が休みの期間も預けられるので助かっています。安心して子育てができるようになりました。また、学年の違う子どもたちと遊べることで、交流の輪も以前より広がりました。

地域の方のお話

わくわくプラザで行われるイベントに参加することで、地域の子どもたちとふれ合うよい場となっています。また、それをきっかけに地域で会っても自然とあいさつができるので、地域全体で子どもたちを見守ることにもつながっています。



わくわくプラザができたことで、子どもを安心して預けられたり、かかわる場ができたりと、子どもだけでなく保護者や地域の人の生活も豊かになったんだね。

等々力球場





等々力球場ができるまで

2008年　老朽化した等々力球場の全面改修に関する請願が出されました。
　　等々力球場の改築もふくめた全面改修を求めて、市民の方から市議会議長あてに提出されました。
2009年　審査の結果、全会一致で採択されました。
　　その後、さまざまな話し合いが行われ、等々力球場の改修が始まりました。
2020年　等々力球場がリニューアルオープンしました。

川崎市の担当の方のお話

等々力球場の改築の決定をもとに、全面改修をするための計画を立てました。計画する際には、主に利用する団体や川崎市民に意見を聞いて、みんなが使いやすい等々力球場をつくれるようにしました。

緑政局やまちづくり局などが協力して、2020（令和２）年に完成しました。

等々力球場には、野球をする以外の役割もあります。





▲防災備蓄倉庫



▲老人いこいの家

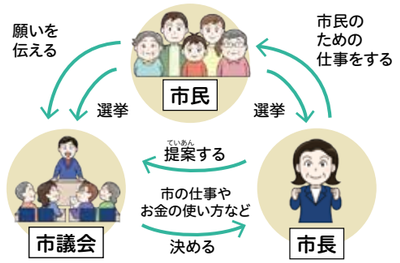
老人いこいの家を利用している方のお話

等々力球場が改修されたことで、いこいの家が使いやすくなりました。また、施設がきれいになり、いろいろなイベントの企画にも参加しやすくなりました。

川崎市議会では、どんなことをしているのでしょう

水道、道路、学校、公園などをつくったり、管理したりするのは主に川崎市の仕事で、どれも大切なことばかりです。ですからみんなで話し合い、つくり方や使い方を決めることが必要です。しかし、市民が全員で話し合うのは難しいため、選挙で選ばれた代表者（＝議員）が、みんなの代わりに話し合いをします。それが市議会です。

川崎市議会は選挙で選ばれた市議会議員の集まる場です。市議会では市長や議員からの提案をもとにいろいろな問題を話し合い、市の仕事の内容ややり方を決めます。また議会で決めたことが正しく行われているか、市民の暮らしにどのように役立っているのかをチェックする役目ももっています。



市議会と市長はお互いに意見を出し合い、協力して、より良い市民生活ができるように取り組んでいます。



議場はどんなところでしょう



▲傍聴席から見た議場（本会議場）の様子



▲記者席と傍聴席（上）
親子傍聴席（下）

議員は一人一人が、すべて市民の代表者です。だれもが責任をもった発言がしやすいように、席の向きや配置が工夫されています。



川崎市議会について
よりくわしく調べたい➡
「川崎市議会キッズページ」

川崎市議会のしくみについて知りたい ➡
動画「市議会のしくみ」

税金の使いみち

【税金のはたらき】
- 所得税……個人が得た所得にかかる税金
- 法人税……会社が得た所得にかかる税金
- 消費税……商品を買ったときなどにかかる税金
- 住民税……住んでいる地域に納める税金
- 固定資産税……土地や建物などにかかる税金

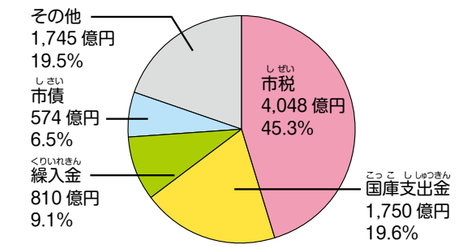
} 納める

地域子育て支援センターやわくわくプラザなどを設置したお金は、市民が納めた税金が使われているんだね。



川崎市では１年間にどんな収入があるのでしょう。

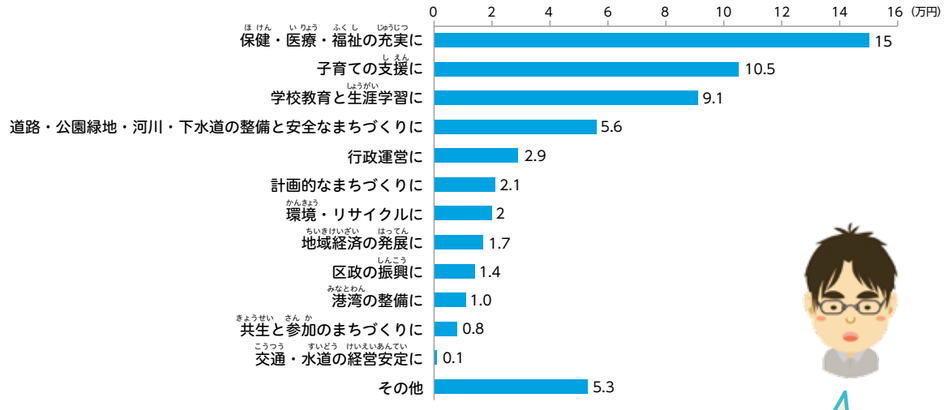
令和７年度　一般会計予算8,927億円



予算（市の1年間の収入と支出を計画するものです。）
市税（市民や会社などが市に納める税金です。）
国庫支出金（国が市のために支出するものです。）
繰入金（市の他の会計から組み入れたものです。）
市債（公共施設の建設のために借り入れるものです。）

収入はどんなことに使われているのでしょう。

市民一人当たりの予算の使いみち（市民一人当たりの予算は約57万5000円になります。）



市民の要望を市議会で代表者が話し合って予算を決めています。また、市議会では予算のほか、地域にかかわるきまり（条例）なども決めています。